

もストレスへの対処が実施されていた。これを鑑みると、成人期以降の発達障害者を支援する上で、彼らのストレスマネジメントを強化していくことはやはり必要な課題であると思われる。今後、ストレスマネジメントを如何に構造化した方法で、成人の発達障害者に対して実施していくかということに関する施策が必要である。

## E. 結論

発達障害者支援センター、障害者就業・生活支援センター、精神保健福祉センター、ジョブカフェおよび若者サポートステーションに対して、成人の発達障害者もしくはその家族から受ける相談内容、各機関で実施している支援・指導などに関する実態調査を行った結果、一部の成人の発達障害者やその家族からの相談に対して、対応する支援や指導がなされているが、成人の発達障害者が抱える生活に関連する問題に対して十分な支援・指導が行われていない現状が明らかになった。

さらに、各支援機関における支援者側が成人の発達障害者に対して必要と感じる支援・指導も実施されていないことが示された。以上の結果から、成人期以降の発達障害者に対する今後の支援施策への示唆が得られた。

## F. 引用文献

- 1) 発達障害情報支援センター. (2006). 平成 17 年度発達障害者支援センター 実績 . <[http://www.rehab.go.jp/ddis/相談窓口の情報/発達障害者支援センターにおける支援実績/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=342](http://www.rehab.go.jp/ddis/相談窓口の情報/発達障害者支援センターにおける支援実績/?action=common_download_main&upload_id=342)>
- 2) 発達障害情報支援センター. (2013). 平成 24 年度発達障害者支援センター 実績 . <[http://www.rehab.go.jp/ddis/相談窓口の情報/発達障害者支援センターにおける支援実績/?action=common\\_download\\_main&upload\\_id=952](http://www.rehab.go.jp/ddis/相談窓口の情報/発達障害者支援センターにおける支援実績/?action=common_download_main&upload_id=952)>.

- 3) 厚生労働省. (2014). 障害者就業・生活支援センターの概要. <<http://www.mhlw.go.jp/bunya/ko-you/shougaisa02/pdf/14.pdf>>.
- 4) 田中尚樹. (2010). 成人期の就労支援と生活支援. 辻井正次・氏田照子 (編著) 発達障害の臨床的理解と支援 4 : 思春期以降の理解と支援. (pp. 173-182). 東京 : 金子書房.
- 5) 藤川洋子 (2008). 発達障害を抱える非行少年の精神療法 : “反省なき更生” を考える. 精神療法、34、275-281.
- 6) Gaus、 V. L. (2007). Cognitive Behavior Therapy for Adult Asperger Syndrome. The Guilford Press: New York.
- 7) McCoy、 K. M. (2012). Mental health issues of adolescents and adults with ASD: Depression and Anxiety. Counseling & Human Development、45、1-8.
- G. 研究発表**
- 1. 論文発表**
- 萩原 拓. (2013). ASD 専門家のケーススタディと歴史の影響. アスペハート、 34、 118-122.
- 萩原 拓. (2013). パニックに気づき、落ち着き、自己管理を促すために. アスペハート、 35、 32-27.
- 萩原 拓. (2013). 個人のキャラと ASD 特性. アスペハート、 35、 102-107.
- 肥後祥治・福田沙耶花(2013). 自閉症幼児のコミュニケーション指導における情報伝達行動の形成の試み : 報告言語行動・「なぞなぞ遊び」を通して. 自閉症スペクトラム研究、 10、 35-46.
- 伊藤大幸・望月直人・中島俊思・瀬野由衣・藤田知加子・高柳伸哉・大西将史・大嶽さと子・岡田涼・辻井正次. (2013). 保育記録による発達尺度(NDSC)の構成概念妥当性 : 尺度構造の検討と月齢および不適応問題との関連. 発達心理

- 学研究, 24(2), 211-220.
- Noda, W., Ito, H., Fujita, C., Ohnishi, M., Takayanagi, N., Someki, F., Nakajima, S., Ohtake, S., Mochizuki, N., & Tsujii, M. (2013). Examining the relationships between attention deficit/hyperactivity disorder and developmental coordination disorder symptoms, and writing performance in Japanese second grade students. *Research in Developmental Disabilities, 34*(9), 2909-16.
- 野田 航・岡田涼・谷 伊織・大西将史・望月直人・中島俊思・辻井正次. (2013).小中学生の不注意および多動・衝動的行動傾向と攻撃性, 抑うつとの関連. 心理学研究, 84(2), 169-175.
- Suzuki, K., Sugihara, G., Ouchi, Y., Nakamura, K., Futatsubashi, M., Takebayashi, K., Yoshihara, Y., Omata, K., Matsumoto, K., Tsuchiya, K. J., Iwata, Y., Tsujii, M., Sugiyama, T., & Mori, N. (2013). Microglial activation in young adults with autism spectrum disorder. *JAMA Psychiatry, 70*(1), 49-58.
- Tsuchiya, K. J., Matsumoto, K., Yagi, A., Inada, N., Kuroda, M., Inokuchi, E., Koyama, T., Kamio, Y., Tsujii, M., Sakai, S., Mohri, I., Taniike, M., Iwanaga, R., Ogasahara, K., Miyachi, T., Nakajima, S., Tani, I., Ohnishi, M., Inoue, M., Nomura, K., Hagiwara, T., Uchiyama, T., Ichikawa, H., Kobayashi, S., Miyamoto, K., Nakamura, K., Suzuki, K., Mori, N., & Takei, N. (2013). Reliability and validity of autism diagnostic interview-revised, Japanese version. *Journal of Autism*

- Development Disorder*, 43(3), 643-662.
- 辻井正次. (2013). 通常学級で特別支援を進めるために. 児童心理 67(18), 59-63.
- 辻井正次. (2013). 自閉症児への支援は変わったか: この一〇年 アスぺの会から. *そだちの科学*, 21, 48-52.
- 辻井正次. (2013). わが国における発達障害児者の生涯にわたる支援の枠組み. *臨床心理学* 13(4), 463-467.
- 辻井正次・明翫光宜・松本かおり・染木史緒・伊藤大幸・田中尚樹他. (2014). 『発達障害児者支援とアセスメントのガイドライン』, 金子書房.
- 辻井正次・田中尚樹. (2013). <シンポジスト>当事者団体の立場からみた特別支援教育. *児童青年精神医学とその近接領域*, 54, 510-511.
- ## 2. 学会発表
- 肥後祥治. (2013). フランスの障害児教育のシステムの現況. 第 51 回日本特殊教育学会 (東京).
- 伊藤大幸・高柳伸哉・野田 航・田中善大. (2013). 小中学生の発達とメンタルヘルスに関する縦断コホート研究(2)ー思春期の問題行動の予測と因果的メカニズムの探索ー. 第25回発達心理学会. 自主シンポジウム. (京都).
- 二宮信一・佐藤 航・佐々木恵. 服部健治・肥後祥治. 社会資源の少ない地域における実践共同体創出の試み(2)ー地域で創る新たな資源の意義と役割ー. 第 22 回日本LD学会. 自主シンポジウム. (神奈川).
- 鈴木勝昭. (2013). 自閉症スペクトラム障害の研究と支援の最前線. 第110回日本小児精神神経学会. イブニングセミナー. (名古屋).
- 諏訪尚弘・肥後祥治. (2013). コーディネーターへの行動コンサルテ

ションの効果－PAC 分析を通して－. 第 51 回日本特殊教育学会  
(東京) .

田中尚樹. (2013). 大人になった自閉  
症スペクトラムの人たち－その  
生活と課題. 第110回日本小児精  
神神経学会. 特別講演. (名古屋).

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

表1 2012年度の相談件数，相談者数に関する記述統計量

	範囲	中央値	平均値（標準偏差）
相談件数	0 - 6184	414	963.24 (1286.86)
相談者数	1-3100	60	212.42 (437.50)
全体の相談に対する割合	0-100	15	—

表2 各支援機関が受ける相談内容とその割合

相談内容	金銭管理	食事	身だしなみ	洗濯	掃除	交通／移動手 段	スケジュール 管理	生活リズム
度数	87	36	59	22	40	43	73	115
割合	42.03%	17.39%	28.50%	10.63%	19.32%	20.77%	35.27%	55.56%

相談内容	服薬管理	余暇活動	危機管理（インター ネット被害，消費者 被害など）	嗜好品管理 （酒、タバコ など）	人とかかわり （職場の同僚，地 域住民相手など）	社会的適応を 妨げる行為 （迷惑行為な ど）	その他
度数	43	72	49	38	170	81	102
割合	20.77%	34.78%	23.67%	18.36%	82.13%	39.13%	49.28%

表3 相談「その他」の内訳

内容	就労・仕事	医療機関の紹 介，治療	障害・症状	家族・ 異性関係	引きこもり	制度・ サービス	訓練	親亡き後 の生活	いじめ	暮らし方	集う場所 の紹介
度数	77	13	12	3	7	11	5	2	1	1	1
割合	37.20%	6.28%	5.80%	1.45%	3.38%	5.31%	2.42%	0.97%	0.48%	0.48%	0.48%

表4 相談を受ける場所

	自機関	他の機関	両方
度数	30	16	151
割合	14.49%	7.73%	72.95%

表5 「他の専門機関」の内訳とその割合

機関	自立支援施設	障害者就労支援機関	発達障害者支援センター	保健・精神保健福祉センター	警察	法律事務所	医療機関	サポートステーション	就労移行事務所
度数	1	23	30	11	1	1	25	11	6
割合	0.48%	11.11%	14.49%	5.31%	0.48%	0.48%	12.08%	5.31%	2.90%

機関	児童相談所	相談支援事業所	就業・生活支援センター	カウンセリング	ハローワーク	行政(福祉課など)	学生相談	引きこもり支援センター
度数	2	12	10	2	6	7	1	1
割合	0.97%	5.80%	4.83%	0.97%	2.90%	3.38%	0.48%	0.48%



表6 支援機関が相談者から聞き取る情報の内訳

内容	金銭管理	食事	身だしなみ	洗濯	掃除	交通／ 移動手段	スケジュール 管理	生活リズム	服薬管理
度数	54	51	60	21	25	58	41	144	76
割合	26.09%	24.64%	28.99%	10.14%	12.08%	28.02%	19.81%	69.57%	36.71%

  

内容	余暇活動	危機管理（インターネット被害、消費者被害など）	嗜好品管理（酒、タバコなど）	人のかかわり（職場の同僚、地域住民相手など）	社会的適応を妨げる行為（迷惑行為など）	精神医学的問題	発達障害などの発達特性	専門機関への受診歴	その他
度数	65	21	31	156	53	123	156	166	74
割合	31.40%	10.14%	14.98%	75.36%	25.60%	59.42%	75.36%	80.19%	35.75%

表7 支援機関が聞き取る相談－「その他」の内訳

内容	職歴	生育歴	家族関係	住居・生活状況・収入	ニーズ	主訴	精神症状・診断の有無	学歴	仕事への意欲	自己認識・本人の特性
度数	26	20	13	11	6	6	5	4	3	3
割合	12.56%	9.66%	6.28%	5.31%	2.90%	2.90%	2.42%	1.93%	1.45%	1.45%

  

内容	資格・免許	ひきこもり期間	関わっている機関	これまでの経緯	手帳の有無	興味	いじめ	障害受容	自己効力のレベル
度数	2	2	2	2	2	1	1	1	1
割合	0.97%	0.97%	0.97%	0.97%	0.97%	0.48%	0.48%	0.48%	0.48%

表8 人材育成のための研修

	している	していない	無回答
度数	141	54	12
割合	68.12%	26.09%	5.80%

表9 研修を実施している場所

	自機関	他の専門機関	両方
度数	62	19	56
割合	43.97%	13.48%	39.72%

表10 支援機関における人材育成研修の内容

内容	事例検討・SV	発達障害	全般的な「研修」 (不特定)	就労支援	行動療法系 (ABAなど)	カウンセリング スキル	自殺・ 引きこもり	精神医学
度数	48	48	35	12	11	9	5	4
割合	23.19%	23.19%	16.91%	5.80%	5.31%	4.35%	2.42%	1.93%

  

内容	事務系 (法律・PC)	心理検査	虐待	不登校	ペアレント・ トレーニング	乳幼児健診従 事者研修	自立支援	ビジネス マナー
度数	4	3	2	1	1	1	1	1
割合	1.93%	1.45%	0.97%	0.48%	0.48%	0.48%	0.48%	0.48%

表 1 1 一人暮らしに向けた訓練の有無

	ある	ない	無回答
度数	71	119	17
割合	34.30%	57.49%	8.21%

表 1 2 一人暮らしに向けた訓練の実施機関

	自機関	他の専門機関	両方
度数	10	49	14
割合	14.08%	69.01%	19.72%

表 1 3 支援機関が行っている生活スキルに関する支援や指導

内容	金銭管理	食事	身だしなみ	洗濯	掃除	交通／ 移動手段	スケジュール 管理	生活リズム
度数	64	37	74	21	30	45	71	101
割合	30.92%	17.87%	35.75%	10.14%	14.49%	21.74%	34.30%	48.79%

  

内容	服薬管理	余暇活動	危機管理（インターネット被害、消費者被害など）	嗜好品管理（酒、タバコなど）	人とかかわり（職場の同僚、地域住民相手など）	社会的適応を妨げる行為（迷惑行為など）	実践していない	その他
度数	43	66	39	24	138	53	32	38
割合	20.77%	31.88%	18.84%	11.59%	66.67%	25.60%	15.46%	18.36%

表 1 4 生活スキルに関する支援・指導－「その他」の内訳

内容	本人に適切な助言（不特定）	就労体験・ジョブトレーニング	ストレスマネジメント	当事者会・自助グループへの参加を促す	家族支援	SST研修
度数	11	10	5	3	2	2
割合	5.31%	4.83%	2.42%	1.45%	0.97%	0.97%

  

内容	性に関して	研修会などの情報提供	ギャンブルへの指導	障害者年金	メンタルヘルス	家事への参加
度数	2	1	1	1	1	1
割合	0.97%	0.48%	0.48%	0.48%	0.48%	0.48%

表15 成人期以降の発達障害者に対して支援・指導の必要性がある生活スキル

内容	金銭管理	食事	身だしなみ	洗濯	掃除	交通／移動手段	スケジュール管理	生活リズム
度数	108	64	94	44	49	58	88	128
割合	52.17%	30.92%	45.41%	21.26%	23.67%	28.02%	42.51%	61.84%

  

内容	服薬管理	余暇活動	危機管理（インターネット被害，消費者被害など）	嗜好品管理（酒、タバコなど）	人とかかわり（職場の同僚，地域住民相手など）	社会的適応を妨げる行為（迷惑行為など）	その必要性を感じない	その他
度数	60	90	84	43	155	91	5	26
割合	28.99%	43.48%	40.58%	20.77%	74.88%	43.96%	2.42%	12.56%

表16 支援・指導の必要性を感じる生活スキル「その他」の内訳

内容	すべて必要	すべてが実施困難	個々に合わせて	性・恋愛教育	自己認知	就労	SST
度数	9	4	3	2	2	2	1
割合	4.35%	1.93%	1.45%	0.97%	0.97%	0.97%	0.48%

  

内容	ネットリテラシー	経済・法律	自助グループの紹介	自己肯定スキル	一人暮らしできるスキル	親の支援
度数	1	1	1	1	2	1
割合	0.48%	0.48%	0.48%	0.48%	0.97%	0.48%

表17 フォローアップにおける支援・サービスの内容

	余暇活動	近隣との関係性・トラブル	ストレスへの対処法	相談の仕方の指導	対象者の支援者に対するサポート
度数	44	20	85	69	82
割合	21.26%	9.66%	41.06%	33.33%	39.61%

表 1 8 支援機関ごとの相談件数，相談者数，全体に占める割合

	機関数	相談件数			相談者数			全体に占める割合	
		平均 (標準偏差)	範囲	中央値	平均 (標準偏差)	範囲	中央値	範囲	中央値
発達障害者支援センター	53	1287.63 (1257.57)	7-5000	995	373.18 (454.37)	1-2500	246	0.4-77	49.3
障害者就業・生活支援センター	47	810.91 (1254.97)	1-6184	359	36.75 (49.84)	1-280	22.5	0.01-70	8.6
精神保健福祉センター	42	547.74 (1214.32)	1-5792	80	81.97 (131.08)	1-547	24	0.40-82.80	6.7
ジョブカフェ／若者サポートセンター	65	1147.76 (1369.89)	0-430	459	303.00 (691.59)	1-3100	53	0-100	16.3

表 1 9 来所する成人発達障害者もしくはその家族からの相談内容

	金銭管理	食事	身だしなみ	洗濯	掃除	交通／移動手段	スケジュール管理	生活リズム
度数								
発達障害者支援センター	37	20	25	12	19	19	36	43
障害者就業・生活支援センター	22	7	17	5	8	10	18	25
精神保健福祉センター	15	5	7	2	7	4	5	21
ジョブカフェ・サポステ	14	2	11	0	3	7	13	26
割合								
発達障害者支援センター	69.81%	37.74%	47.17%	22.64%	35.85%	35.85%	67.92%	81.13%
障害者就業・生活支援センター	46.81%	14.89%	36.17%	10.64%	17.02%	21.28%	38.30%	53.19%
精神保健福祉センター	35.71%	11.90%	16.67%	4.76%	16.67%	9.52%	11.90%	50.00%
ジョブカフェ・サポステ	21.54%	3.08%	16.92%	0.00%	4.62%	10.77%	20.00%	40.00%
	服薬管理	余暇活動	危機管理 (インターネット, 消費者被害 など)	嗜好品管理 (酒, タバコな ど)	人とのかかわり (職場の同僚, 地域住民相手な ど)	社会的適応を妨 げる行為 (迷惑行為な ど)	その他	
度数								
発達障害者支援センター	22	33	27	19	52	40	24	
障害者就業・生活支援センター	11	19	7	4	41	16	22	
精神保健福祉センター	5	10	10	11	34	18	22	
ジョブカフェ・サポステ	4	11	3	2	43	6	35	
割合								
発達障害者支援センター	41.51%	62.26%	50.94%	35.85%	98.11%	75.47%	45.28%	
障害者就業・生活支援センター	23.40%	40.43%	14.89%	8.51%	87.23%	34.04%	46.81%	
精神保健福祉センター	11.90%	23.81%	23.81%	26.19%	80.95%	42.86%	52.38%	
ジョブカフェ・サポステ	6.15%	16.92%	4.62%	3.08%	66.15%	9.23%	53.85%	



表 2 0 各支援機関が受ける相談－「その他」の内訳

発達障害支援センター			障害者就業・生活支援センター			精神保健福祉センター			ジョブカフェ／サポステ		
	度数	割合		度数	割合		度数	割合		度数	割合
就労関係	14	26.4%	就労関係	19	40.4%	就労関係	11	26.2%	就労関係	28	43.1%
機関紹介	4	7.5%	就労訓練	3	6.4%	医療機関の紹介・ 診断・治療	8	19.0%	精神症状	2	3.1%
診断・現症状	4	7.5%	年金関係	2	4.3%	ひきこもり	7	16.7%	就労訓練	2	3.1%
福祉制度	3	5.7%	手帳申請	2	4.3%	精神症状	6	14.3%	制度	2	3.1%
異性・結婚	1	1.9%	機関紹介	1	2.1%	暴力（家庭内）	4	9.5%	ひきこもり	1	1.5%
DV	1	1.9%	家族関係	1	2.1%	ネット依存	2	4.8%	機関の紹介	1	1.5%
家族関係	1	1.9%	異性・結婚	1	2.1%	自殺・自傷	2	4.8%			
大学関係	1	1.9%	福祉制度	1	2.1%	福祉制度	2	4.8%			
親亡きあとの生活	1	1.9%				生活全般	2	4.8%			

表 2 1 相談業務を行う場所

		自機関	他の機関	両方
発達障害者支援センター	度数	7	2	44
	割合	13.21%	3.77%	83.02%
障害者就業・生活支援センター	度数	10	2	35
	割合	21.28%	4.26%	74.47%
精神保健福祉センター	度数	6	6	28
	割合	14.29%	14.29%	66.67%
ジョブカフェ／サポステ	度数	6	7	44
	割合	9.23%	10.77%	67.69%

表 2 2 各支援機関がリファーする専門機関

	発達障害者支援センター		障害者就業・生活支援センター		精神保健福祉センター		ジョブカフェ／サポステ				
	度数	割合	度数	割合	度数	割合	度数	割合			
医療機関、カウンセリング	12	22.6%	障害者職業支援センター	11	23.4%	発達障害者支援センター	14	33.3%	発達障害者支援センター	8	12.3%
他の相談機関（相談支援事業所）	11	20.8%	発達障害者支援センター	8	17.0%	医療機関	4	9.5%	障害者就労支援機関・移行支援	6	9.2%
障害者就業・生活支援センター	10	18.9%	医療機関	5	10.6%	障害者就業・生活支援センター	1	2.4%	精神保健福祉／保健センター	6	9.2%
障害者職業センター／就労移行事業所	8	15.1%	行政	4	8.5%	ハローワーク	1	2.4%	サポートステーション	6	9.2%
精神保健福祉センター	4	7.5%	相談支援事業所	3	6.4%	障害者職業センター	1	2.4%	ハローワーク	4	6.2%
ハローワーク	3	5.7%	ハローワーク	2	4.3%	ひきこもり地域支援センター	1	2.4%	医療機関	3	4.6%
サポートステーション	2	3.8%	サポートステーション	2	4.3%				障害者就業・生活支援センター	2	3.1%
児童相談所	2	3.8%	保健師	1	2.1%				自立支援機関	1	1.5%
警察	1	1.9%									
法律事務所	1	1.9%									
学生相談	1	1.9%									

表 2 3 各支援機関における成人の発達障害者もしくはその家族から聞き取る情報

	金銭管理	食事	身だしなみ	洗濯	掃除	交通／移動手段	スケジュール管理	生活リズム	服薬管理
度数									
発達障害者支援センター	15	11	18	5	7	14	13	45	24
障害者就業・生活支援センター	17	8	15	7	7	21	10	35	24
精神保健福祉センター	13	20	16	6	8	8	8	28	10
ジョブカフェ・サポステ	8	11	14	3	3	15	10	38	20
割合									
発達障害者支援センター	28.30%	20.75%	33.96%	9.43%	13.21%	26.42%	24.53%	84.91%	45.28%
障害者就業・生活支援センター	36.17%	17.02%	31.91%	14.89%	14.89%	44.68%	21.28%	74.47%	51.06%
精神保健福祉センター	30.95%	47.62%	38.10%	14.29%	19.05%	19.05%	19.05%	66.67%	23.81%
ジョブカフェ・サポステ	12.31%	16.92%	21.54%	4.62%	4.62%	23.08%	15.38%	58.46%	30.77%
	余暇活動	危機管理（インターネット被害、消費者被害など）	嗜好品管理（酒、タバコなど）	人とかかわり（職場の同僚、地域住民相手など）	社会的適応を妨げる行為（迷惑行為など）	精神医学的問題	発達障害などの発達特性	専門機関への受診歴	その他
度数									
発達障害者支援センター	21	6	5	40	14	33	49	48	19
障害者就業・生活支援センター	15	5	7	37	12	26	41	40	13
精神保健福祉センター	14	7	13	32	16	31	29	33	20
ジョブカフェ・サポステ	17	3	8	49	10	34	39	47	22
割合									
発達障害者支援センター	39.62%	11.32%	9.43%	75.47%	26.42%	62.26%	92.45%	90.57%	35.85%
障害者就業・生活支援センター	31.91%	10.64%	14.89%	78.72%	25.53%	55.32%	87.23%	85.11%	27.66%
精神保健福祉センター	33.33%	16.67%	30.95%	76.19%	38.10%	73.81%	69.05%	78.57%	47.62%
ジョブカフェ・サポステ	26.15%	4.62%	12.31%	75.38%	15.38%	52.31%	60.00%	72.31%	33.85%